

発行人
群馬県議会議員
今井としや

県議会
レポート
vol. 1

Prefectural Assembly Report



2023.11.30

一般質問を
行いました

令和5年第3回
後期定例会動画



群馬県議会議員 今井としや

自動車の電動化について

産業経済部長へ質問



Q 群馬県の製造品出荷高8兆円のうち33%、SUBARUの本拠地太田市では製造品出荷額2.3兆円のうち70%が自動車関連である。電動化により100年に1度といわれる変革期を迎えている自動車関連サプライヤーの現状と課題を県はどう認識しているか？

A おとしSUBARUの協力のもとサプライヤー支援センターを設置したところだが、事業者の規模や技術力によって電動化への対応には差がある。成長への投資が必要という指摘もあり、県としては技術開発や投資など変化に対し積極的にチャレンジする事業者をサポートする必要性を感じている。

Q 取引相手としての信用を保証するため、県が関与して技術、情報、事業者のマッチングの場をつくるなどすれば、そこに集う事業者どうしの信用が保証され時間との勝負にアドバンテージが出るように思うがどうか？

A 電動化により新規参入の領域も出てくる。電動化の流れをチャンスと捉え、SUBARUや金融機関といった関係機関と連携協力し地域サプライヤーの挑戦をサポートしていきたい。

群馬県の農業について 農政部長へ質問

Q 今年7月から9月の間アメダス桐生では最高気温35度以上が45日、うち37度以上が24日と非常に過酷な夏であった。恒常化する高温対策として寒冷紗等の日よけ、換気や冷却の設備のほか品種改良も必要と考えるが、どのような対策を取っているか？

A 熱中症への啓発のほか、遮光・遮熱資材、屋根への散水、畜舎の大型送風機などを対象とした補助を行っている。また、栽培技術の研究や、コメ、リンゴなどで暑さに強い品種の開発もしている。

Q 農業の存続のためには、収益性を高めコストを削減して利益を増大させ、稼げる農業を目指す必要がある。その手段のひとつとしてスマート農業があるが、県内における取り組みと今後の推進は？

A GPS付きトラクター、栽培環境制御システム、牛の分娩監視装置、病害虫防除AIなどが利用されている。経営規模に応じた投資と技術習得が必要になるが、普及を進めて稼げる農業を実現していきたい。

Q 藪塚西部地区における排水事業の意見を反映させることと事業完了後の安全性確保について要望が出ているがどう応えるか？

A 推進委員会から意見を聴取しながら事業を進めている。今年度の地元説明会でも湛水に係る情報をいただいた。事業完了後は安全策や注意喚起看板を設置する。今後地元のご理解ご協力を得ながら進めたい。



群馬県のDXの方向性について

DX推進監へ質問

Q 今年度で終了する『ぐんまDX加速化プログラム』の進捗と来年度から始まる新たなプログラムの特徴はどんなものか？

A 現行のプログラムは19分野112事業にまたがり進捗は良好である。ただ、アンケートの結果から課題も出てきており、新プログラムではそれに対応するためデジタルクリエイティブ人材の育成と最先端クラス行政サービスの2つを新たな柱に加える。

Q 今後市町村ではシステム標準化という大仕事控えているが、DX人材を自分たちだけで育成するのは困難であるとの意見をいただいている。市町村のDX推進をどう支援するか？

A 2025年度末までに、県では2市町村では20の基幹業務システム標準化が求められる。これまでに県は全市町村へ訪問し課題の確認をしてきた。今後は市町村職員への受入れと県職員の市町村への訪問といった双方向での支援をしていきたい。

DXの産業利用について

産業経済部長に質問



Q 民間事業者とくに製造業におけるDXへの対応状況と推進はどのように行っているか？

A 昨年3月にデジタルソリューションラボを開設し、課題の洗い出しから導入・達成に向けた共同研究まで行っている。企業の生産性向上と活性化につなげていきたい。

県の教育における課題について

教育長に質問

Q 今年の夏は過酷であった。県外では子供が熱中症で亡くなるという痛ましい事故もあったが、子供の成長のためには様々な経験も必要である。猛暑下での屋外活動の安全性をどう担保するか？

A 各学校で暑さ指数や生徒の体調等をもとに部活動や登下校にも配慮して情報提供や研修を行っている。市町村教育委員会や大会主催団体とも連携して子供たちが安全に活動できる環境整備をしていきたい。

Q 部活動の地域移行について、指導者の確保と質の担保をどのように行うか、また、保護者・生徒側の経済的負担はどうなるのか？

A 指導者の確保については国の事業を活用して配置に係る補助を進めている。指導者の質の担保については実技を含む研修会を開催している。経済的負担については現在取り組んでいる実証事業を踏まえ今後検討していきたい。

Q 県で行ったスクールロイヤー事業の活動状況と市町村への支援はどうか？

A いじめや暴力行為への対応、学校事故への対応、学校やPTA運営に関する法的留意事項などの相談に対応した。引き続き市町村教育委員会へ県における成果など必要な情報提供をして今後の対応を検討したい。



県道と河川の問題について

県土整備部長へ質問

Q 県道の中央分離帯や歩道の植え込みにおいて雑草が繁茂しているのが散見される。また、特に私の地元太田市では、産業のポリウムが大きく重量級の車両が多数往來するためか舗装が傷みがちである。県道の除草と舗装補修の考え方はどうなっているか？

A 流域では合計8カ所の調節池を整備している。現在最後の一つを太田強戸スマートIC付近で工事中だが、今年度末の完成を目指している。

Q 県道の中央分離帯や歩道の植え込みにおいて雑草が繁茂しているのが散見される。また、特に私の地元太田市では、産業のポリウムが大きく重量級の車両が多数往來するためか舗装が傷みがちである。県道の除草と舗装補修の考え方はどうなっているか？

A 流域では合計8カ所の調節池を整備している。現在最後の一つを太田強戸スマートIC付近で工事中だが、今年度末の完成を目指している。

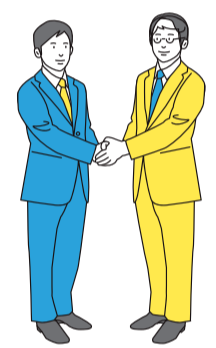
Q 県道の中央分離帯や歩道の植え込みにおいて雑草が繁茂しているのが散見される。また、特に私の地元太田市では、産業のポリウムが大きく重量級の車両が多数往來するためか舗装が傷みがちである。県道の除草と舗装補修の考え方はどうなっているか？

A 流域では合計8カ所の調節池を整備している。現在最後の一つを太田強戸スマートIC付近で工事中だが、今年度末の完成を目指している。



山本県政の方向性について

知事へ質問



Q 『市町村との連携』は山本県政におけるキーワードと心得る。知事のもとには各市町村から様々な要望が持ち込まれると思うが、市町村との連携について県の体制や知事の考えはどのようなものか。

A 地域創生部と振興局が一体となって課題解決や国庫金の獲得など支援してきた。県の予算は限りがあり全ての要望には応えられないが、県と市町村は対等の関係であり、相互に理解し合いながら同じ方向を向いて進んでいくことが重要と考える。市町村との関係を大切にしながら連携し目標を達成できるようにがんばりたい。

Q 山本県政もう一つのキーワードは『投資』である。公平性を重んじる行政の立場からは県内均衡ある発展が理想であるが、国内外の激しい競争に勝ち残るには各地域の特性や強みに応じた投資のあり方も重要と考える。例えば、太田をはじめとする東毛地域は産業の集積地であり、産業向けの投資は東毛に重点を置くといった考えかである。これについてどう考えるか？

A 大変重要なご指摘であり、地域の特性や強みに応じた投資というのは私も全く同じ考えである。各地域の特性や強みを踏まえて、それぞれの地域が輝けるような投資をしつかり応援していく。今日ご指摘いただいた県議会との信頼関係を大事にする、市町村との連携を大事にする、地域の特性を踏まえて投資を戦略的にしていく、これらのことは知事として重視してまいりたい。

初

登庁 令和5年5月10日初登庁いたしました。1週間後には初めての県議会が始まるので、すぐに仕事に取りかかる準備です。



群

馬県主催の総合防災訓練が行われました。直下型地震を想定し、市町村や関係機関と合同して実施されました。群馬県は災害とあまり縁がないと思われている方も多いと思いますが、地震を引き起こすと考えられている活断層は県内にも複数存在します。風水害への備えも必要です。防災マップを活用し、平時から準備をしておきましょう。



群馬県総合防災訓練

委

員会の所属 常任委員会は総務企画委員会の所属で、総務部・知事戦略部・地域創生部を所管しています。特別委員会はリトリート・温泉文化に関する特別委員会に所属となりました。リトリートとは『癒やし』の意味で、群馬県はリトリートの聖地となることを目標にしています。また、温泉文化の世界遺産登録へ向けた県の動きも活発化しており、これらを取り扱う委員会となっています。そのほか、図書広報委員会にも所属し、議会図書館や議会の広報に関する仕事をしています。



常任委員会県内調査 上信電鉄



特別委員会県内調査 尾瀬ヶ原



図書広報委員会 おすすめの1冊



委員会にて

道

路に関する要望を知事と議長に届けました。太田市だけでなく、桐生市・みどり市と合同での要望です。こうした広域の仕事にも取り組んでいます。



桐生市みどり市と合同で 知事へ要望活動

ご意見・ご要望をお寄せください。

群馬県政に対するご意見やお困りのことなど、お気軽にご相談ください。議会活動や県との協働で対応していきたいと思ひます。



県道の草

